南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ（日記の一種：掲載許可済み）等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方（滞在の方・避難された方等）が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行　NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、今まで協力いただいた先（判明している所のみ）：長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ　配布協力避難所：新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場　http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html

帰還要請　東北の関西人

被災者と被災地で働く全ての人がまた普通の生活に戻れますように。　2011-07-12

http://ameblo.jp/morimarion/entry-10951444402.html

[東日本大震災：福島・南相馬市が帰還要請へ　市外避難者対象にきょう文書発送　／山形

◇県内に2000人「なぜ今」戸惑い

福島県南相馬市が市外の全避難者約3万2000人を対象に、8月末まで避難施設を退去し、自宅や市内の仮設住宅などに入るよう求める文書を12日に発送することが分かった。同市は「いつまでも受け入れ自治体の好意に甘えるわけにいかない。（以降略）」（毎日 JP より）

逃げろって言ったり帰って来いって言ったりしても私たちにも生活がある、感情がある
「はい、そうですか」と帰る人間がいるものか
自立するために目標を設ける　だ？
他人に甘えてばかりではいけない　だ？
誰がそうした？　　笑わせるな
今日のニュースで牛からセシウムが出たばかりだというのにどうやって復興するというのだ
まだ田畑も瓦礫汚水砂泥で埋まっているのに何をしたらいいのだ
寝言は原発を本当に沈下させ土壌汚染を除去する目処がたってから言え
帰って何をするというのだ
机上の空論で人をバカにするのも大概にしろ
南相馬市、しっかりしてくれ！
人が住める環境にしてから　迎えにきてくれ

そうすれば市民も気持ちよく帰れるものを
あまりがっかりさせないで欲しい…

##

南相馬市から7月11日夜　サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を経営しています。 新鮮な話題をお届け！　2011-07-11 19:27:26

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/4ae1b1b12e31d36c78f0e0ad99062dd9

震災から4ヶ月、復興より再生エネルギーに意地を持つ総理だったとは、思いませんでした。
なんでも、優先順位があると思いますが、今すぐにやらなければならない事をどんどん後回しにしてしまう総理、再生エネルギーなどの、将来の事は、あなたが言うように次の若い世代の後継者に任せればいいことだと思いますが、言っている事は理解できますが、説明不足だし、やっていることのバランスが悪いように思えます、残念ですが。
今日、ある病院の院長さんにある作家のレポートをいただきました。その中の一節。
『大参事でパニックするエリートと機能しない政府、どん底で助け合う普通の人々と機能する市民社会』
災害自体は悲劇だ。だが、それはまるで革命にも似ていて、人々は突然未来が大きく開けたことを感じ、何かが可能であることを、驚きやパッション、強烈な思いを持って語るのだ。それは、自分の生活、アィデンティティ、コミュニティーがこれまでとは異なるものになり得る、という感覚だ。怖い事でもあるが、同時に開放的なことでもある。
普通の生活において、われわれは未来、過去にまつわる心配事をいろいろと抱えている。ところが、そうした心配事は災害ですっかり吹き飛んでしまい、心配やねたみなどの感情から解放される。金持ちも貧乏人も、同じように瓦礫の中から親族を見つけ出そうとする。現実の出来事が、世界を一瞬にして平らにし、人々を直接的に結び付けるのだ。
続きは朝に

南相馬市から7月12日朝　2011-07-12 05:19:59

http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/feb22dcf609e424d05afb8d4e9f02f1e

『災害ユートピア』の中では、災害時に一般市民のパニックが起こると想定し実際にパニックするのはエリートたちであり、む

しろその（エリートパニック）こそが社会を危機に陥れると考える。
日本の政府政治家、官僚の皆さん、どうやらパニックっているようです。
私たちの、社会制度は競争や利己主義に基づいて作られているので、競争心や利己心の強い人間が成功して、社会のトップに上り詰めるようになっている。彼らの目から見ると、世界全体が競争社会だ。だから、災害時には略奪のような事件が起こると恐れ、その恐怖に駆られた過剰反応からパニックを起こすのだ。
彼らがパニックを起こすことは、一般市民が起こすよりも、重大な影響を社会に与える。なぜならば彼らには権力があり、その高い社会的な地位を利用して情報操作を行うことができるからだ。
管総理がパニック状態であるように思えてならないのですが、それが心配です。

南相馬市から7月12日夜　2011-07-12 19:13:35
http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/5a178c57ddb2cc99ebd9e9bdcfab2878
細野大臣、解除などと言っていますが、解除するという事は、安全になったという事でないと、ダメですよね。
皆さん、信用できますか？信用するには、大臣の子供でも連れてきて南相馬市で住まわせてくれるという決意があるのなら、信用できますが。
除染には汚染マップがいります。どこが放射能の値が高いのか、低いのか、ちゃんと調べてから、始まると思いますが、桜井市長もNPOが放射能マップを作っているのを知っていますから、マップができてくれば、それを生かしてくれることでしょう。

『災害ユートピア』の続き
目覚め、災害は文字通り人々を揺り動かすものだと思う。ほとんどの人は寝返りを打って、再び眠りに堕ちるのだろう。
災害、震災の後に、積極的に政治に参加するようになったり、利他的な活動に参加、従事するようになったりと、人生が根本的に変わってしまった人は多い。これは命を脅かす病気にかかった人の状態にも似ている。
時間を無駄にせず。深い信念のために生きようと決心するようだ。
多くの人たちは元の職場や生活に戻っても、市民社会やコミュニティーを以前より大切にするようになる。
人生における優先順位や自分とは何者かという感覚が変わるのだ。
そうした意識を保ち続けるには鍛錬が必要だ、ものへの無執着や他への慈愛といったことは、積極的な訓練があってこそ持続できるものだ。災害は一時的に開放性や可能性、団結をつくりだす。だが、その後に、良くなる社会もあれば、悪くなる社会もある。

要は、可能性の窓が開けられ、何かを手渡された。今手渡されているものは、『お金』。さあ、ここからどうするか、という問題が出てきている、堕落するのか、未来に投資するのか、被災地の我々が今試されている、日本中が見ていることを忘れてはいけないだろう。

##

なぜ「地下水」のことに触れないのですか　・・・　肉牛セシウム検出の原因　負けてらんにぇ！みんなでなんとかすっぺ！！
南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。　2011-07-12 09:34:51
http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/dcc796196e24ad00bacb525cd8c88956

原発事故の被曝で恐ろしいのは
外部被曝より「内部被曝」であることは　・・・　誰もが知るところです。
内部被曝では　放射性物質が口から
食べ物や　水を通して体の中に入ってきたり
口や鼻からの　呼吸で入ってきたりします。
そうすると　人間（や牛）は体内から
放射性物質が出す放射線を浴び続けることになります。

本日（12日）　新聞3紙を読みました。　テレビも見ました。
しかし　何故か共通して　食べ物（餌）のことしか言及していません。
問題は　・・・　特に　水（実際は「地下水」を飲ませていた）に関する言及がないのです。
いまは「地下水」のことには触れたくないのでしょうかねぇ～。
その理由は明らかです　・・・　。
いずれ　地下水について言及しなければならないことは

時間の問題でしょうに　・・・　。

そんな素人でも分かるようなことも言及できない御用学者　御用評論家は
去れ！！　・・・　です。

##

4ヶ月　ゆっ太郎（2011.07.06 10:00）

相双ゆたどさ　ゆったりが、どっさり。～ふくしま相双～

http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3317.html

毎月 11 日 14 時 46 分に更新しています。
早いもので今日で4回目。
あの大震災から4ヶ月が経過してしまいました。
長引く避難生活。
慣れない避難生活で亡くなられている方も多いと聞きます。
まだまだ原発に不安を感じているのに、政府は「緊急時避難準備区域」の解除を検討しています。
除染をしないまま解除になるのでしょうか？
解除したからと言って、学校や幼稚園、保育園が再開できるのでしょうか？
30キロ圏内外の学校に通う子どももマスク、帽子、長袖を着て登校しているのに。「水素爆発の可能性0」と言っても、現状でも放射能がでているのに。
政府は「解除して避難されている方は戻って復興をして欲しい」といいます。
この震災・原発で仕事、家を失った方が多い中、仕事もない、家もないという状態で復興できるのでしょうか？私は不安で仕方ありません。 国はきちんとこの現状を見て欲しい。
簡単に『解除』ということをして欲しくないと思います。
　間もなく『相馬野馬追祭り』が行なわれます。
昨年、一昨年も参加いただいた、「盆踊り」が今年が出来ません。 踊っていると沢山の方々に声を掛けていただきました。
恥ずかしくも嬉しかった。踊り終わった後の達成感。
今年は・・・・・・・・。
今年の『相馬野馬追』は例年とは違いますが、是非沢山の方々に見に来て欲しいです。
放射線への不安が解消されて地域の皆さんが安心して帰ることのできる　そして、私の大好きな相双が戻ってきますように。

シンガーソングデザイナー　ave さん　　福島市出身
ave official HP(URL:http://tosp.co.jp/i.asp?i=ave20xx)

南相馬市内で放射線量測定ーその 2ー

ゆっ太郎（2011.07.12 11:30）

http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3346.html

前回刈りはらった自宅の庭のぼーぼー草。
【相双ゆたどさ】:南相馬市内で放射線量測定(2011.6.6:掲載)
空梅雨に近い今年の梅雨時でも例年とは違う物質を吸上げた雑草たちはたった、ひと月前と同じ状態に復元してしまいました。

(左:今回草刈前の庭。／右:前回 6/4 の草刈前の庭。)
野馬追に、お客さんをお迎えするためおらぃの嫁サマに、せっつかれての草刈となりました。 前回同様、生い繁っているあたりの線量を測ってから草刈開始します。

草刈前:0.85μSv／h。(前回、草刈前:0.92μSv／h)

前回よりも丈が短かったにもかかわらず 3 時間超の草刈となってしまいました。

右上程に小さく見えるプランターがおらぃのゴーヤです。

Plant to Plant（URL: http://plant2plant.org/）
発電所（plant）の電気から緑の苗（plant）へ
［Twitter アカウント］: @plant2plant

企画・販売事務所は USTREAM で南相馬市の現状を伝えた『いっとこ／南相馬チャンネル』を運営した フロンティア南相馬

【相双ゆたどさ】:ゴーヤの苗で緑のカーテン(2011.6.23:掲載)
草刈後の計測値も、前回同様大きな変化はありません。
玄関先のインターロッキング上は 0.42μSv／h でした。

0.42(μSv／h) x 24(h) x 365(日) = 3,679.2
年間 3.68mSv の計算です。
(前回:年間 5.7mSv の計算)

今回刈りはらった草の山も測定しました。

内幸町本店の皆さん。
着払いでお送りさせていただきますので
ご担当部署、担当社員名をお教えください。

##

●放射線被ばく検診の実施について

東日本大震災関連情報(H23.7.11 9:00 現在)

南相馬市ホームページ

http://www.city.minamisoma.lg.jp/i/k/hibakukenshin.jsp

福島第一原子力発電所の事故に伴う健康不安の解消と健康管理のためホールボディカウンターによる放射線内部被ばく検診を行います。

○対象者

原発事故発生時に南相馬市に居住されていた小学生、中学生及び高放射線量地域に長く生活されていた方を優先としながら、放射線被ばく検診を希望する小学生以上の市民。(受診予定者数　約7，000人)
※高放射線量地域:上栃窪、樋原、大谷、高倉、馬場、大原、片倉、押釜、20km圏内の警戒区域

○検査項目・料金(個人負担金)

・ホールボディーカウンターによる検査:無料
・ホールボディーカウンターによる検査及び血液検査:無料

○検査日時・人数

平成23年7月11日(月)から平成24年3月30日(金)までの毎週月曜日～金曜日実施いたします。
・ホールボディーカウンター
時間:午前 10 時～正午
人数:20 名
・ホールボディーカウンター＋血液検査
時間:午後 2 時～午後 5 時
人数:20 名　※血液検査は希望の方のみです

○実施場所

南相馬市立総合病院(南相馬市原町区高見町二丁目54－6)

○申し込み方法

予約受付開始:平成23年7月6日

1. 電話での予約

予約受付時間　午後2時から午後4時まで(毎週、月曜日～金曜日)
予約先:南相馬市被ばく検診受付専用ダイヤル(電話:0244-25-7820)

2. FAXでの予約:0244-22-8853

(記載項目)
・氏名
・住所(3月11日時点・通知書等送付先)
・生年月日
・年齢
・電話番号
・希望する検査(ホールボディーカウンターのみ　または　ホールボディーカウンターと血液検査)

3. 市立総合病院窓口での申込書による予約

窓口に受付箱と申込書用紙を備え付けます。7月9日から設置します。(毎日:午後2時から午後4時)

※市内の各小・中学校に通学する児童・生徒については、各学校に検診申込書を配布しますので、電話でのお申込みは必要ありません。検診申込書は7月11日(月)配付します。7月14日(木)まで学校に提出してください。市外の各小・中学校に通学する場合は、上記1、2、3の方法でお申込みください。

○検診日・問診票
予約受付後に検診者に検診日程と問診票を郵送します。問診票を記入し検診日にご持参ください。

○お願い
受診予定者数を超えた時は、受付を終了いたします。また、申し込みされても受診できない場合がございます。

担当課:南相馬市役所健康づくり課(0244-23-3680)
検査実施機関:南相馬市立総合病院(0244-22-3181)